

現代實用中藥

增訂本

葉橋泉 主編
陳仲克 助編

科技衛生出版社

一九五八年

內 容 提 要

本書選輯實用中藥五百餘種，全書分概說、各論兩部。各論以藥名筆划為順序，每藥分異名、學名、科屬及形態、品類、產地、成分、藥理、效用、用法及用量、驗方、新藥等。特于效用項下分列1、2兩部：第1部份採用現代醫學病名；第2部份為古本草主治，以便作對比研究。全書引用國內外最新文獻及臨床報告頗多，書末并附“效用分類索隱”、“治療病名索隱”、“中藥異名索隱”等。無論臨床實用或研究參考，均甚適合。

現代實用中藥

增訂本

葉橘泉 主編

陳仲達 葉克強 助編

科技衛生出版社出版

(上海南京西路2004號)

上海市書刊出版業營業許可證出093號

上海市印刷四廠印刷 新华書店上海發行所總經售

開本 787×1092 1/32 印張 19 1/4 插頁 4 字數 490,000

(原于質堂、上衛版共印 72,000 冊)

1958年10月新1版 1959年1月第3次印刷

印數 8,001—23,000

統一書號：14119·42

定價：(十) 2.15 元

自序

我國地處溫帶，幅員廣大，土地肥沃，物產豐富，生藥產量之多，為“世界第一”。

中國生藥，自古以來，很早就供醫療上應用，歷史悠久，效用優秀，早為各國學者所重視，如當歸、大黃、麻黃等，早被歐美各國大量細載而去。東邦日本吸收我國古代文獻研究漢藥，尤為努力，經化學分析，藥理試驗，抽出有效成分，製成新藥，供科學醫療上應用者已不在少數。

為甚麼“庖人不治庖，尸祝越俎而代！”我們應認識到我國長期處在半殖民地半封建社會，帝國主義的侵略干涉和反動統治黑暗勢力相勾結，致一切政治、經濟、文化，悉仰帝國主義的鼻息，醫藥也不能例外，反動政府對人民大眾賴以解除疾苦和有關國防建設的中藥，漠不關心，當然談不到提倡，在這樣的環境下，即使少數學者有志研究，也不會被人們重視的。現在情形，則恰恰相反了，由於人民領袖毛主席正確領導下，一切以人民利益為前提，我國大陸解放後，新中國的建設到處呈現着蓬勃的氣象，全國衛生會議決定了“面向工農兵、預防為主、中西醫團結合作”的醫藥衛生總方針，藥物亦與其他工業一樣，以“生產自給”為原則。醫藥衛生人員，通過了政治學習，一切為了“服務人民”的啓發與鼓勵下，以前勢同冰炭的中西醫，亦起了空前的轉變，中醫們都心誠悅服地在學習科學，西醫們也在研究中藥了，這確是“團結合作”最好的象徵。

我對於中藥研究，素感興趣，在二十年前，曾主張“以科學方法整理中藥文獻、臨床實驗統計中藥療效”，不過在舊中國時代的環境下，當然響應寥寥，理想不能實現。

我在一九三八年，曾寫過一本臨證實用藥物學，目的是企圖把中藥應用到現代醫療上。那一本書只印了一版，早已沒有了，雖然有許多讀者和幾家書店，來信詢問再版，我自己覺得不滿意，預備把它澈底修改後再印；卒以碌碌無暇，一直擱置到現在。

同時，感覺到要研究中藥，決非單從“紙上談兵”所能成功。起碼的條件，要配合臨床實驗。所以在一九三七年，又辦過“單方實驗研究社”選輯經驗單方，按期出版，徵集同志，作臨床試驗，冀求得到統計上的效果。這是我的一種理想，事實的經過，因同情而參加的社員，大多數不是醫生，限於實驗條件，結果毫無成就。

現在舊中國已成過去了，人民的新中國一切爲了人民，中藥是中國人民大眾需要用以解除疾苦的東西，我早就準備寫這本書，因爲近來看到蘇聯方面，對於藥用植物的研究，和臨床實驗的報導，非常適合於我們學習，而我國東北等老解放區醫務工作同志們，也在展開臨床研究，報導實驗成績的文獻，也如雨後春筍，我還想多多吸收新知，多多搜集材料，以求充實內容，所以屢寫而屢擱置，遲遲未能實現。本年春間，老同學陳君仲達來此，我和他談及此事，他感到非常高興，力促早日實行，同時他說：“我們應該學習毛主席實踐論。把這些初步製作，先作成初步概念，施之實踐，在實踐中追求再進步的認識”，他並願意幫助我做這工作。

於是我們決定開始工作，遂把所有新舊材料，分類整理，一面廣爲搜求新出醫藥雜誌，有關中藥文獻儘量羅致，開始進行編纂，名曰“現代實用中藥”，爲了溝通中西新舊，特於效用項下，分爲1、2兩部；其第1部分，儘量採用現代醫學名詞，以冀新用途的開展；其第2部分，則載古本草的主治，以便舊經驗的探究。在本書編寫經過中，發覺到困難重重，例如植物的科屬和學名，因近緣植物的種類甚多而混淆錯誤，不可究詰。又如古本草所載的藥物，和現在藥店所售的材料未必盡同，例如銀柴胡、潼

目 次

自 序.....	1
再版贅言.....	1
凡 例.....	1
第一編 概說	
中藥的起源.....	1
民間藥.....	2

本草書的沿革.....	2
中藥性味的由來.....	6
中藥名稱的由來.....	6
中藥的採集與乾燥.....	9
貯藏與保存.....	9
中藥的修治與炮製.....	10
中藥的調劑或製劑.....	14
中藥的化學成分.....	16

第二編 各 論

二 劃

丁香.....	21
九香蟲.....	22
人 參.....	23
人參三七.....	30
人中白.....	24
人中黃.....	25
八月札.....	25
八仙花.....	26
八角金盤.....	28
十大功勞.....	27

三 劃

三 七.....	30
----------	----

三 稜.....	31
土瓜根.....	32
土茯苓.....	33
土常山.....	33
土木香.....	288
大 薊.....	34
大風子.....	35
大青葉.....	36
大 蒜.....	37
大 麻.....	38
大麻仁.....	38
大 棗.....	40
大 黃.....	41
大 戟.....	42
大茴香.....	281

大腹皮.....	487
女 貞.....	43
小連翹.....	43
小 麥.....	44
小茴香.....	281
小 薊.....	34
山豆根.....	45
山茶花.....	46
山柰肉.....	47
山 椒.....	48
山 藥.....	49
山梔子.....	50
山茱萸.....	51
山 奈.....	55
山慈姑.....	55

山萆蘇	57	木芙蓉	85	甘 松	99	
山扁豆	57	木防己	176	甘 遂	100	
川 芎	52	毛 苣	76	甘 蕉	204	
川 骨	53	水 蛭	77	生 薑	100	
川檳皮	54	水 獺	78	白 朮	94	
川椒目	48	水獺肝	78	白豆蔻	101	
川 貝	172	水 仙	85	白附子	102	
四 劃			牛 蒡	79	白 果	103
五加皮	59	牛 虻	80	白 芷	104	
五倍子	60	牛 黃	81	白 前	105	
五味子	60	牛 膝	81	白頭翁	106	
五穀蟲	61	牛 肝	304	白 及	107	
五靈脂	62	牛 膽	463	白 檀	108	
五葉藤	84	王不留行	82	白 薇	109	
元明粉	168	丹 參	83	白芥子	109	
反鼻蛇	325	五 劃			白 芍	169
升 麻	63	仙 茅	87	白花蛇	325	
天門冬	64	仙鶴草	88	白扁豆	170	
天 麻	64	仙人掌	119	白木耳	121	
天南星	65	代赭石	89	白石英	122	
天名精	66	冬瓜子	90	白 蘇	122	
天竺黃	67	冬蟲夏草	91	白鮮皮	123	
天花粉	259	冬葵子	91	白膠香	406	
天 雄	270	半 夏	92	白 蠟	372	
巴 豆	68	半邊蓮	94	白僵蠶	531	
巴戟天	69	朮	94	石 脂	111	
文 蛤	367	玉蜀黍蕊	95	石 葶	112	
月季花	70	玉蜀黍子	95	石 斛	113	
木 瓜	71	玄 參	96	石楠葉	114	
木天蓼	72	玄精石	120	石 蒜	115	
木賊草	73	瓜 蒂	110	石 榴	116	
木 通	73	瓜 蒌仁	259	石 膏	117	
木 香	74	瓦楞子	367	石決明	118	
木蝴蝶	75	甘 草	97	石長生	124	
				石 松	125	

石蓮子.....	441	西河柳.....	145	防己.....	176
平地木.....	119	西瓜皮.....	146	防風.....	177
		守宮.....	147	夾竹桃.....	178
六 劃		七 劃		八 劃	
伏龍肝.....	127	何首烏.....	151	乳香.....	181
全蠍.....	129	佛耳草.....	152	佩蘭.....	182
冰片.....	129	佛手柑.....	153	使君子.....	182
合歡皮.....	130	吳茱萸.....	154	刺楸皮.....	183
列當.....	141	延胡索.....	155	夜明砂.....	184
地榆.....	131	忍冬.....	156	夜交藤.....	151
地黃.....	131	旱蓮草.....	157	明礬.....	185
地骨皮.....	133	杏仁.....	158	昆布.....	265
地龍.....	134	杜仲.....	160	柿.....	186
地膚子.....	135	杜衡.....	179	柿霜.....	186
地鼈蟲.....	135	沒藥.....	161	柿蒂.....	186
地鼈殼.....	363	沒食子.....	162	柿漆.....	186
地膽.....	347	沉香.....	163	柿餅.....	186
安南子.....	136	沙參.....	163	枇杷葉.....	187
戎鹽.....	235	決明子.....	164	枇杷仁.....	187
百合.....	137	牡丹皮.....	165	林檎.....	202
百部.....	138	牡蠣.....	166	板藍根.....	302
百兩金.....	148	皂莢.....	167	狗脊.....	188
百草霜.....	148	皂角刺.....	167	狗寶.....	290
竹.....	139	芒硝.....	168	知母.....	189
竹瀝.....	139	芍藥.....	169	花蕊石.....	190
竹茹.....	139	豆.....	170	芡實.....	190
竹葉心.....	139	豆豉.....	170	羌花.....	191
竹節人參.....	149	貝母.....	172	羌青.....	347
羊肝.....	304	車前.....	174	芸香.....	192
羊蹄.....	140	辛夷.....	175	芭蕉.....	204
肉豆蔻.....	140	赤小豆.....	170	羌活.....	460
肉蓯蓉.....	141	赤芍.....	169	虎骨.....	193
艾葉.....	143	赤地利.....	180	虎耳草.....	205
艾納香.....	150	赤苓.....	279	金櫻子.....	194
血竭.....	144				

金銀花.....	156	玳瑁.....	217	食鹽.....	235
金雀花.....	205	禹餘糧.....	217	食茱萸.....	245
金星草.....	206	秋石.....	218	飛蝗.....	235
金盞草.....	207	穿山甲.....	219	香附.....	237
附子.....	270	紅花.....	220	香薷.....	238
阿膠.....	194	砒石.....	221	香薷.....	246
阿魏.....	195	砂仁.....	222	香櫟.....	247
青蒿.....	197	胡椒.....	223		
青橄欖.....	198	胡桃仁.....	224	十 劃	
青黛.....	199	胡桃油.....	224	倒地拱.....	176
青皮.....	454	胡桃葉.....	224	凌霄花.....	248
青箱子.....	494	胡桃夾.....	224	射干.....	248
卷柏.....	199	胡荽子.....	225	夏枯草.....	249
忽布.....	200	胡荽葉.....	225	桂.....	250
玫瑰.....	203	胡麻.....	226	桂枝.....	250
		胡黃連.....	227	桂心.....	250
九 劃		胡蘆巴.....	228	桂皮.....	250
前胡.....	208	胡頹子.....	240	桃仁.....	251
南瓜子.....	209	胡蘿蔔.....	241	桃花.....	251
南天竹.....	210	苦楝皮.....	228	桃葉.....	251
南天燭葉.....	210	苦楝子.....	228	桉樹葉.....	254
厚樸.....	211	苦參.....	229	桑.....	253
威靈油.....	212	苦瓜.....	243	桑白皮.....	253
枳.....	213	苧麻根.....	231	桑枝.....	253
枳殼.....	213	茅根.....	231	桑葉.....	253
枳實.....	213	茅花.....	231	桑椹.....	253
枳椇子.....	214	苜蓿.....	242	桑螵蛸.....	256
枸杞子.....	133	茄.....	244	桑寄生.....	257
枸杞葉.....	133	茉莉花.....	244	桔梗.....	258
枸杞骨.....	239	郁李仁.....	232	栝樓.....	259
柴胡.....	214	郁李根皮.....	232	栗.....	295
柏子仁.....	303	降真香.....	233	浮萍.....	260
相思子.....	240	韭菜子.....	234	浮海石.....	260
炮薑.....	100	韭菜根.....	234	海州常山.....	261
省藤.....	216	韭菜葉.....	234	海龍.....	262

蜆..... 414
 路路通..... 406
 鉛丹..... 407
 鉤藤鉤..... 407
 鉤吻..... 414
 雷丸..... 408

十四劃

槐花..... 416
 槐角..... 416
 榛子..... 431
 漆樹..... 432
 漏蘆..... 433
 熊膽..... 417
 綠礬..... 418
 綠豆..... 170
 碧桃乾..... 251
 福壽草..... 434
 蒲公英..... 419
 蒲黃..... 420
 蒺藜..... 421
 蓖麻子..... 422
 蒼耳..... 424
 蒼朮..... 94
 蜘蛛..... 424
 豨薟草..... 425
 輕粉..... 426
 遠志..... 427
 酸棗仁..... 428
 酸漿..... 429
 飴糖..... 430
 鳳仙子..... 431
 鳳尾蕉..... 434
 鳳尾金星..... 206

十五劃

劉寄奴..... 436
 樟..... 437
 檉根白皮..... 392
 檉雞..... 347
 榧子..... 439
 榧..... 449
 磁石..... 438
 穀芽..... 440
 穀精草..... 440
 箬竹..... 450
 蓬蒿..... 451
 萹菜..... 451
 葶菜..... 452
 蓮..... 441
 蓮子..... 441
 蓮蕊鬚..... 441
 葦撥..... 443
 葦澄茄..... 444
 蔓荊子..... 445
 腹蛇..... 325
 蝦蟇..... 446
 醋..... 447
 鴉膽子..... 448

橋..... 454
 橋皮..... 454
 橋絡..... 454
 橋核..... 454
 橋葉..... 454
 禪木..... 463
 煨斗..... 469
 燕窩..... 469

十六劃

澤瀉..... 455
 澤蘭..... 456
 澤漆..... 457
 燈心草..... 458
 蕃椒..... 453
 獨活..... 460
 礪砂..... 461
 蕪荑..... 461
 豬苓..... 462
 豬肝..... 304
 豬膽..... 463
 龍骨..... 464
 龍齒..... 464
 龍膽草..... 465
 龍眼..... 466
 龍眼核..... 466
 龍葵..... 471
 龜板..... 467
 鴨跖草..... 471

十七劃

膽礬..... 473
 檀香..... 474
 檜..... 482
 營實..... 475
 菴菜..... 476
 薄荷葉..... 477
 薏苡仁..... 478
 薑黃..... 479
 薤白..... 480
 蟋蟀..... 481
 螺螄..... 484
 螺螄草..... 484
 螻蛄..... 485
 鉞砂..... 521

現代實用中藥

第一編 概 說

1. 中藥的起源

中藥都是草、根、木皮、花、葉、果實，以及禽、獸、蟲、魚等自然界產物。把這些自然界產物利用到疾病治療上來的起源，是我們的祖先從勞動中創造出來的。先民整日的勞動，和大自然奮鬥，因尋求食物，從日常生活中累積下一部分經驗，知某種東西吃了會致瀉，某種東西吃了會嘔吐，某種能發汗，某種能解熱，傳說中的“神農嘗百草”，一日而遇七十毒，雖不一定真的有“神農”其人，然而確是無量數的“勞動神農”身經的事實。例如挖掘根莖類食物像“山藥”“芋頭”“蘿蔔”等，不幸挖得了“大黃”，吃了它瀉得要命，或者碰到了“烏頭”，麻醉得要死，或竟因此而喪失了性命。反過來說：偶然掘吃了“人參”，覺到精神興奮。若被蟲獸嚙傷的時候，採摘某種藥草搗敷，得以止血或止痛，或竟獲得腫消而自愈。由於這樣的經驗教訓，就認識了一部分所謂“民間藥”。

2. 民間藥

由於勞動人民艱苦奮鬥，痛苦備嘗，所得來的集體經驗，認識了這些“民間藥”，口口相傳，因歷史的累積，愈聚愈多。後來又因人文進化，創造了文字，那時自然而然的逐漸把他們記錄到書簡上。我們所見到關於藥名及藥物的記載，最早要算詩經及山海經了，這是遠在周秦時代的著作。山海經所記載的藥物，大都把它們作外用塗敷或佩戴的，這顯然是原始的記載，我們現在的民間風俗，尚有令小孩佩戴黃布袋，內盛“阿魏”等以辟瘟疫，還有五月端午節塗“雄黃”在額額以避蟲蛇等舊習。現在還稱吃藥為“服藥”，這“服”字似含有佩戴的遺意。從這些民族傳統的風俗習慣，倘和“服”字的來源看起來，已足夠說明中藥是從民間創造的由來了。

3. 本草書的沿革

我國第一部本草書：神農本草經，雖不是傳說中的神農氏在四千餘年前的著作，但大概是後漢時代（紀元後200年）魏之名醫張機、華陀輩所僱托。這本書收載藥品三百六十五種，分上中下三品，把營養強壯可以常服的藥物一百二十種，列為“上品”。把攻病毒的藥物一百二十五種，列為“下品”。其他的一百二十種，列為“中品”。從那時候起，由“民間藥”進一步而成專業化的“醫用藥”，這是初步的加以分類的記述。此後有華陀的弟子吳普、李當之等，把他們老師華陀口授的藥，著成吳普本草及李當之本草經各一卷，從此，本草書的名稱漸行於世。後來，梁的陶弘景根據了神農本草經作神農本草經集註七卷，採入名醫別錄三卷，這集註七卷在神農本草經的三百六十五種之外，又增加加入漢、魏以下醫家所用的藥三百六十五種，共計為七百三十種。後來，本草學這一門，逐漸興盛，本草書的著述，隨着時代文化的進步而發展，彙成洋洋大觀，茲擇要列表如下：

書名	卷數	收載藥品數	著作時代	著者	與摘要
神農本草經	3	365	後漢時代	張機或華佗等編述，雖冠以“神農”之名，並非神農氏所著。	
名醫別錄	3		梁武帝時 (502—549)	陶弘景集漢魏名醫所用之藥品而成。	
本草經集註	7	730	梁武帝時 (502—549)	陶弘景以神農本草和別錄合併並加註而成。	
新修本草 (亦作26)	20	854	唐顯慶四年 (659)	蘇敬李勣等撰，後代稱“唐本草”。今有影印殘本，刊入 <u>纂喜盧叢書</u> 。	
食療本草 (補養本草)	3		唐垂拱間 (686)	孟詵	
本草拾遺	10		唐開元間 (739)	陳藏器	
蜀本草	10		後蜀時 (934)	後蜀孟昶稱帝，命韓保昇撰。	
群定本草	20	983	宋開寶間 (966)	宋太祖命將唐本草、蜀本草兩書註釋而成。	

開寶本草	21	983	宋開寶間 (974)	宋勅命馬志劉翰等校正薛京本草而成，又稱 <u>重定本草</u> ，宋太祖御製序。
嘉祐補註本草	20	1082	宋嘉祐間 (1061)	<u>掌禹錫</u>
嘉祐本草圖經	20		宋嘉祐間 (1062)	<u>蘇頌</u>
真寶本草圖經	33		宋元祐間 (1092)	<u>陳承</u>
經史類類備急本草	32		宋元符間 (1098)	<u>唐慎微</u>
大觀本草	31		宋大觀間 (1108)	唐氏原著， <u>艾晟</u> 增修後稱 <u>大觀本草</u> 。
政和新修本草	31		宋政和間 (1116)	唐氏原著，曹孝中校正並序，一名 <u>政和新修經史證類備用本草</u> 。
本草衍義	21		宋政和間 (1116)	<u>寇宗奭</u>
紹興校定經史證類備急本草	30		宋紹興間 (1150)	<u>王繼先</u> 等

重修政和本 草合衍義本草	30	1749	元定宗間 (1252)	張存惠
經史證類 大成本草	31	1746	金貞祐間 (1214)	幅昌孫履氏刊。內容同 <u>大觀本草</u> ， 今有武昌 <u>柯氏</u> 重刊本。
救荒本草	4	414	明洪武初 (1368)	周定王撰
重刊證類本草	30	1749	明成化四年 (1468)	高輅序
本草品彙精要	42		明弘治十六年 (1503)	施欽等奉勅撰，內府藏本，未刊行。
重刊政和本草	30	1749	明嘉靖卅一年 (1552)	陳鳳梧序，內容同 <u>成化重刊本草</u> 。
本草綱目	52	1884	明萬曆二十四年 (1596)	李時珍著，其子 <u>建元</u> 進呈，奉旨留 覽。
本草品彙精要續集	10		清康熙四十年 (1701)	王道純等。
本草綱目拾遺	10		清乾隆三十年 (1765)	趙學敏

以上列舉的本草書，除了末兩種外，均為歷代正統的官版系屬，其他旁系著述，尚有很多，現在姑且不舉了。李時珍本草綱目雖為私人著作，內容分十六綱，六十目，其分類方法，已初具科學雛形，收集藥物，達一千八百九十二種之多，及歷代經驗藥方一萬餘則，可稱集中藥的大成，這書是我們研究中藥的重要參考文獻。

4. 中藥性味的由來

中藥是我國勞動人民從長期實踐經驗中所發現的，最初只認識某藥能治某種病，後來經醫藥學家總結了這許多有效的藥物，著作本草以資流傳和推廣，那時他們就親自嘗味定出藥物的性能。例如：薑味辛辣，服後有熱感，且能發汗，故定為味辛性熱。黃連味苦，有消炎之功，故定為味苦性寒。黃耆、甘草等味甘，有緩和補益之效，故定為和中益氣，等等。創造陰陽五行、五味五氣的理論來指導實踐，這是中藥的藥理學，傳說中的神農嘗百草，實際是我國古代醫藥學者們的業跡。中藥的性味是指導臨床應用的唯一依據，也是祖國醫學整體性的理論體系的一個重要組成部份。中藥的成份是非常複雜的，中藥的療效是綜合的，用目前的分析化驗方法，還不能闡明其全面的藥理作用，如當歸、川芎等，很久以來一直應用於婦科調經、補血和活血，現在發現當歸含有維生素B₁₂，川芎含有葉酸，有人認為業已闡明它們的有效成份了，我們知道維生素B₁₂和葉酸決不能代表當歸、川芎的全部效用，因此根據中醫理論而掌握中藥的藥性，在中醫治療來說，是有它重大的意義。

5. 中藥名稱的由來

中藥的命名，有由“地名”“性能”“色相”等而來的，茲舉例如下：

(甲) 以產地命名的比較最多，例如：

阿膠：產於山東泰安東阿縣，以東阿阿井之水煎黑驢皮而成之透明膠塊，故“驢皮膠”就稱“阿膠”。